

北村メンタルヘルス学術振興財団

2024 年度研究助成 審査講評

代表理事

北村俊則

第一次選考担当理事

松長麻美

篠原枝里子

羽田彩子

2024 年度は 70 件のご応募があり、厳正な審査を行いましたが、該当者なしという結果になりました。一次審査を行った理事として今回の審査を振り返り、気が付いた点を講評し、次年度のご応募際にご参照ください。

当財団の研究助成への応募案件の審査は、まず若干名の理事による第一次審査を行い、ここで選ばれた応募案件を代表理事が審査し、最終的に全理事による投票で上位者から受理とする手続きを取っています。利益相反がある応募について理事は審査に加わりません。

審査員フレンドリーな記載をお願いします

第一次審査では一人の審査員理事が数十件の応募案件を精読します。それぞれの案件の背景と調査手段について、最も詳しく知っているのは応募者です。審査員理事はそこまで詳しくは知らないとお考えください。十分に知らない審査員にも研究の重要性と意義が理解できる記載内容にしてください。

【例】「〇〇障害についての研究」といっても、〇〇障害の実態がどのようなもので、なぜそれに関する調査研究が喫緊の課題であるのかを分かりやすく記

載しましょう。

当財団の目指す方向にあった内容にしてください

当財団の将来構想（下記 URL）に、当財団が重視する領域が記載されています。

[https://www.kitamura-foundation.org/images/aboutus/vison\\_220530.pdf](https://www.kitamura-foundation.org/images/aboutus/vison_220530.pdf)

領域は次の通りです。

個人領域

ストレス理論

パーソナリティと発達

集団領域

対人関係

ライフスタイル・ライフサイクル

文化・風土・言語

規範領域

生命倫理

法と行政

ご申請の案件がどの領域に焦点を当てているのかわかるように計画書を記載しましょう。該当しない内容であれば当財団の応募基準外となりますので別の研究費助成への応募をご検討ください。

【例】「周産期メンタルヘルス」の研究であっても、女性の特定のパーソナリティの研究や生まれた新生児の発達に関する研究であれば「個人領域」です。

配偶者との関係の研究、ワークライフバランスを周産期メンタルヘルスの観点で見る研究、日本と特定の外国との比較研究であれば「集団領域」です。周産期メンタルヘルスケアにあたるスタッフのプロフェッショナルエシックスの研究や周産期医療の制度設計の研究であれば「規範領域」です。

### メンタルヘルスの指標の選択を工夫してください

当財団はメンタルヘルスに関する財団です。ご申請いただく研究内容にはメンタルヘルスを評価する指標が含まれることは多くあります。心理状態のどこに着目するかを慎重に考えましょう。

【例】メンタルヘルス指標として感情を扱う場合、例えば有名な Hospital Anxiety and Depression Scale (HADS) や K6 など使うだけでは限定的です。抑うつと不安だけがメンタルヘルス指標ではありません。怒りや嘔気などの基本的感情や、誇りや罪責感といった自己意識感情など、広範な指標が考えられます。なぜ提案の計画でその感情指標が最適であるのかを考えましょう。

【例】メンタルヘルス指標は精神症状に限りません。ストレス、パーソナリティ、発達、さまざまな対人関係（親子、夫婦、友人、同僚・・・）、ライフスタイル・ライフサイクル、文化・風土・言語も測定できます。

### 評価項目の信頼性・妥当性が担保できているか確認してください

量的研究であれば基準変数・説明変数があります。ここで用いる評価項目の選択は、「多くの研究で使われているから」では不十分です。各評価法（面接や調査票）の信頼性・妥当性が申請内容の集団で確認できていることを記載しましょう。そうでなければ、評価法自体の研究であることにも重点を置きましょう。

【例】広く使用されている産後うつ病評価のために作成された調査票が、妊婦対象に用いてよいわけではありません。使用するならその根拠を挙げましょ

う。使用したいと思う尺度があれば、その尺度が持つ特性を理解し、その研究における概念を測定するのに本当に適した尺度であるかを吟味してください。産後のうつ病の症状と妊娠うつ病の症状が同じ因子構造でないかもしれません。症候論的考察も行いましょう。

#### 評価項目の下位尺度を確認してください

複数項目の尺度には下位尺度が分かっているものも多くあります。それにもかかわらず項目総合点を求めて指標得点とするのは荒い方法で、推奨されません。一方、複数の下位尺度の間に相当な相関がある場合は、g factor の存在も考慮しましょう。

#### 因果関係に注目してください

メンタルヘルス領域の量的研究の多くは因果関係を見ようとする試みです。A → B という関係を見ようとするものです。横断面調査では変数間の相関はわかりますが (A ⇔ B)、因果が (一般的統計解析の範囲では) 確認できるものではありません。ですから追跡調査が必要になります。そして統計解析もそれに合わせます。単純な  $\chi^2$  乗検定、T 検定、重回帰分析では不十分です。また、近年のメンタルヘルス研究は、介在、交絡、調整などの諸要因に配慮するのが普通です。解析方法には (可能であれば) パス図をつけることが審査員フレンドリーな方法です。

#### 関連する先行研究を紹介しましょう

ご提案の研究計画は、これまでの長い研究の歴史の一部です。その歴史についてあらすじを述べてください。特に seminal paper は忘れないようにしてください。

【例】産後のボンディング障害の研究であれば C. Kumar 論文をはずせません。メンタルヘルス領域の倫理の研究であれば Beauchamp & Childress は

欠かせないでしよう。

【例】特定のメンタルヘルス問題の人の家族の負担は、当然、当財団の関心事項です。そしてさまざまな慢性疾患や障害を有する人の家族の負担に関する先行研究は数多く行われています。これを概観することは必要な作業です。

引用文献のスタイルは American Psychological Association (APA) のそれに準拠するなど、統一のあるものにしましょう。

審査に当たっては必ず引用文献を確認しております。次回から引用スタイルは APA format で書きましょう。引用がない応募は論外です。

【APA format の例】誤り：Kitamura, T. & Nishino, Y.D. (2020). Mental Health of Small Dogs: A Multinational Epidemiological Study. *International Journal of Animal Psychology*, 54(6), 234-245.

正しいもの：Kitamura, T., & Nishino, Y. D. (2020). Mental health of small dogs: A multinational epidemiological study. *International Journal of Animal Psychology*, 54(6), 234-245.

解説：

- &の前にはコンマ (,)
- 2字のイニシャルにはブランク (Y.D.→Y. D.)
- 表題は最初の単語の語頭のみ大文字で、あとは小文字
- 雑誌名と巻数はイタリック。雑誌名の短縮形は不可

研究の成果は国際誌への投稿を目指しましょう

審査に当たっては、その研究に財団研究助成を行った後に、国際誌への投稿・受理がどれほど可能かも考慮しています。

【例】この例外は、日本国内のメンタルヘルス制度設計への提言に直結する研究です。例えば、児童福祉法の問題点を指摘する研究論文は和文で発表するほうが意味あるかもしれません。